

ジェンダーとは？

「男らしさ」「女らしさ」と表現されるような性に対する見方のことをジェンダーといいます。

ジェンダーをとらえ直し、ジェンダーにおいて平等な社会をめざす動きが国内外で活発になっています。

ジェンダーをめぐる問題は、すべての学生にとって、自分自身の生き方と切実にかかわる問題です。また、卒業後の職業や社会生活でも、ジェンダーに対する認識が求められています。

ジェンダー・フォーラム

日本で初めて「女性学」の講座を開いた和光大学が、ジェンダーに関する情報発信、イベントの企画、交流活動などを行うために設置した機関。みなさんも参加して、ジェンダー・フォーラムの活動を盛り上げてください。



ジェンダー・フリースペース

ジェンダー・フォーラムが活動を行う場＝スペース。G棟1階（G112教室）にあります。原則として前期・後期の授業期間中、平日の午後に開室しています。学生・教職員にかかわらず、地域や学外の人々にも開放しています。ジェンダーについて情報を得たい人、何か活動をしたい人、おしゃべりをしたい人、リラックスしたい人、ぜひ気軽に立ち寄ってください。



和光大学 ジェンダー・フリースペース (GFS)
〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1

ジェンダー・フォーラムHP
<https://www.wako.ac.jp/cooperation/research-center/gender.html>



GSP

ジェンダー・スタディーズ・プログラム

2026年度



ジェンダー・フォーラム
ジェンダー・フリースペース

 和光大学



GSP

ジェンダー・スタディーズ・プログラム

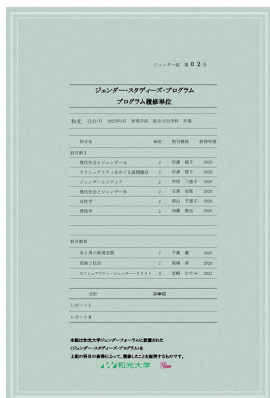
2026年度

ジェンダー・スタディーズ・プログラム

性別によって生活経験や人生の可能性が異なる社会の問題性を理解し、よりよい社会について考え、実践する力を養うことをめざしたプログラムです。このプログラムで学んだジェンダー関連の知識は、家庭や学校、職場や地域などありとあらゆる場で起きている問題の発見や解決に生かすことができます。

学びのポイント

- ・ジェンダーに関する科目を系統的に履修できます
- ・多様な働き方、生き方の設計に役立ちます
- ・日々の生活でジェンダーに関する課題を見つけ対処できるようになります



プログラム履修証明書(見本/表・裏)

<ジェンダー・スタディーズ・プログラム>の履修に必要な科目と単位数

20単位(科目群Ⅰ+科目群Ⅱ)

+

レポートⅠ

+

レポートⅡ

科目群Ⅰ(コア科目) 以下から12単位以上

性とジェンダーA	共通教養科目
性とジェンダーB	共通教養科目
セクシュアル・マイノリティのこころと支え	共通教養科目
働く女性の歴史	共通教養科目
女と男A	共通教養科目
女と男B	共通教養科目
共生社会とスポーツA(スポーツとジェンダー)	共通教養科目
女性学	現代人間学部 学部共通科目
男性学	現代人間学部 学部共通科目
ジェンダーと教育	心理教育学科 学科専門科目
恋愛と結婚の心理学	心理教育学科 学科専門科目
セクシュアル・マイノリティの心理学	心理教育学科 学科専門科目
ジェンダー労働論	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
現代の家族	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
世界の性文化 / 性の人類学	総合文化学科・現代社会学科 学科専門科目
開発とジェンダー	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
言語と社会B	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
現代社会とジェンダーA	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
現代社会とジェンダーB	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
セクシュアリティをめぐる諸問題A	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
セクシュアリティをめぐる諸問題B	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
ジェンダーとメディア	人間科学科・現代社会学科 学科専門科目
映像と英文学批評 1	総合文化学科 学科専門科目
映像と英文学批評 2	総合文化学科 学科専門科目
セクシュアリティ・ジェンダー・テキスト	総合文化学科 学科専門科目
ジェンダー表象論 / 女と男の表現空間	総合文化学科 学科専門科目
労働と経済	経済学科 学科専門科目
社会福祉	経済学科 学科専門科目
女性企業家論	経営学科 学科専門科目

- ・今年度休講の科目もあるため、各課程の授業一覧表を確認してください。
- ・現在、開講されていない科目については、すでに単位修得済みであれば修了要件に含まれることができます。
- ・各科目2単位(「セクシュアリティ・ジェンダー・テキスト」は4単位)
- ・申請科目は、卒業年度の前期までに単位修得している科目であることが望ましい

科目群Ⅱ(関連科目)

全学開講科目から、プログラムに関連すると本人が判断する科目を8単位以上。なお、科目群Ⅰの履修単位が12単位を越える場合には、その分を科目群Ⅱに加算することができる。

レポートⅠ 以下の①・②・③からひとつ以上を選択。

- ① 公共機関・NPO・本学ジェンダーフォーラム等において行ったジェンダー関連の学習・活動の記録を2,000字程度でまとめたもの。
- ② ジェンダーに関連する2,000字程度の小論文。
- ③ ジェンダーに関連する卒業論文・卒業研究・卒業制作。小説等の創作作品、絵画等の美術作品の場合、提出方法を事前に企画課企画係に問い合わせること。また、創作・制作意図を説明する400字程度の文書を添付すること。

レポートⅡ 「履修したジェンダー関連科目を振り返って」のタイトルで以下の2点をそれぞれ1,000字程度でまとめたレポート。

- ① 科目群Ⅰ、科目群Ⅱで履修した各科目から学んだこと、考えたこと。
- ② それらを通して、全体として学んだこと、考えたこと。
※プログラムに関連すると本人が判断し、科目群Ⅱとして申請した科目については、その科目から学んだことなどを1科目ずつ明記してください。

なお、例年1月に開催される「ジェンダーフォーラム卒業論文・卒業制作発表会」で発表を行い、参加者と質疑応答をすることで、レポートⅡを免除します。

プログラム申請手続きの流れ

